琉球新報 2012年(平成24年)9月12日水曜日 26面 【社会】 掲載

ウンガミで、歌や太鼓でにぎやかにハーリーを迎え入れる女性たち
＝11日、大宜味村の塩屋湾

豊漁願いウンガミ 大宜味

読んで広がる NIE

【大宜味】国の重要無形民俗文化財に指定されている大宜味村塩屋湾のウンガミ（海神祭）が11日、湾内と周辺集落で行われた。厳かな雰囲気の中、豊作や豊漁を願い、神人らが田港と屋古のアサギで祈りをささげ、勇壮な御願バーリーで盛り上がりは最高潮に達した。ウンガミは旧盆後最初の亥の日に催される。400～500年前から行われている塩屋は受け継がれてきた形が残っているという。

田港のアサギでは、神人らが健康や航海安全を祈願。門中の人々らに神酒と餅を振る舞った。屋古では、神人が弓を持って「ヨンコイ、ヨンコイ」と唱えながら柱の周囲を回り、豊年を願った。

御願バーリーでは、神人を乗せたハーリーを男性たちが力強くこぎ「トーヒャー」と声を掛け塩屋の海岸を目指した。海岸では海に入った女性たちが太鼓や手をたたいて出迎えた。

▶動画

琉球新報NIE推進室☎098（851）5190 ✉nie@ryukyushimpo.co.jp